

第1回赤磐市上下水道事業審議会 議事要旨

開催日時	令和8年7月22日（水）9時55分～11時20分
開催場所	赤磐市東庁舎2階会議室1
議 事	(1) 赤磐市水道事業および下水道事業の概要について (2) 公営企業運営の基本原則について (3) 各事業の決算状況について (4) 水道料金・下水道使用料の現状について (5) 今後の予定について (6) その他

○出席者

委員11人 市長はじめ職員ほか関係者7人

○会長、副会長の選出について

会長に小堀浩志委員、副会長に中原哲哉委員を選出

○諮問書の提出

市長から会長へ諮問を行う

【議事内容】

(1) 赤磐市水道事業および下水道事業の概要について

- 事務局から資料に基づき説明（水道事業ビジョン、下水道経営戦略参照）
- 質疑応答・意見等

〔委員〕町苅田地区にはいつ下水道が来ますか。

〔事務局〕計画区域には入っているが、事業区域には入っておらず時期はお答えできない。

(2) 公営企業運営の基本原則について

- 事務局から資料に基づき説明
- 質疑応答・意見等

〔委員〕市役所や学校、ふれあい公園などの公共施設は水道料金を払っているのか？

〔事務局〕税金で運営されていますが、かかった経費として支払いをしている。

(3) 各事業の決算状況について

- 事務局から資料に基づき説明
- 公営企業会計・税務支援業務 公認会計士から決算についての解説

水道事業：過去6年間で約4億円の貯蓄（内部留保資金）が減少しており、令和8年度も赤字に転じる見込み。また、料金回収率も100%を下回っており、貯金を切り崩して運営している状態である。

下水道事業：一般会計から年間約 10 億円の繰入金があることで黒字に見えているが、約 100 億円の借金（企業債残高）があり、使用料収入の何十倍もの借入がある。水道事業よりも経営状況は厳しい。

● 質疑応答・意見等

〔委員〕赤磐市の自己水源は？

〔事務局〕吉井と熊山の一部のみ。山陽地域はもともと受水で運営していた。今は、企業団から（必要な水の）8 割受水している。

〔委員〕今までこのような表をみることもなかったのですが、水道の受水費はどこに入っているのですか？

〔事務局〕決算の事業費に関する事項の 1 営業費用、（1）原水及び浄水費の中に含まれています。内訳は、ほぼ受水費です。

〔委員〕国の物価高交付金を赤字の補てんに充てられないのか？

〔事務局〕使途が決まっていて、水道料金に充てることになっているので、赤字補てんには使えません。

（４）水道料金・下水道使用料の現状について

● 事務局から資料に基づき説明

● 質疑応答・意見等

〔委員〕赤坂地域の下水道整備計画については？

〔事務局〕今後の事業計画については未定。

〔委員〕吉井地域の事業で企業の汚水を仁堀浄化センターにつなぐことはできないか？

〔事務局〕前提として、農業集落排水なので、工場の排水を受けることは想定していない。センターの改修にも莫大な費用がかかる。

〔委員〕では、浄化槽の補助する区域の拡大を考えてほしい。

〔事務局〕今後の全体計画の中で検討していく。

（５）今後の予定について

次回審議会日程について事務局から説明

〔委員〕第 2 回審議会早い時期に決めてほしい。

※最終的には、審議会から市に対して答申書を提出する。

（６）その他

配布したチラシ

水道：国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した水道料金の減免について

下水道：「クリーンます」の清掃について

○閉会